

魅力発信に係る検討について

1. 背景・目的

本市は、京都・大阪・奈良という大都市、歴史・文化都市に挟まれて位置しており、古代は貴族の別業地として栄え、高度成長期にはベッドタウンとして急激に人口が増加しながら発展してきました。また、宇治茶、世界遺産である宇治上神社・平等院など全国でも有数のブランド力を誇る資源を有し、一定の知名度を得ています。

しかしながら、今後は国と同様に、人口減少・少子高齢化が一層進展すると見込まれており、町内会・自治会などの地縁団体、地域コミュニティの衰退も懸念され、まちが活力を失い、行政基盤も脆弱化する恐れがあります。

こういった状況において、今後もまちの基盤を維持し、持続的に発展するためには、市内外に効果的にまちの魅力を発信する仕組みを整える必要があります。

2. これまでの取組

こういった背景を踏まえ、平成 25 年度に（一財）地方自治研究機構と共同で、効果的にまちの魅力を発信する仕組みを整えるための研究を実施しました。

この研究では、市民アンケートや市外の人へのアンケート、有識者ヒアリングなどを実施し、本市の現状の把握と課題の整理を行い、魅力発信の手法や取組の検討を行っています。

この研究のなかでは、魅力発信は、行政だけでなく、市民、事業者、学生など宇治に関わる様々な人で行うことが重要であり、行政として市民、事業者、学生などの各魅力発信主体をつなぐ仕組みづくりが必要であるとしています。

3. 魅力発信に係る行動指針について

平成 25 年度の研究結果（資料 5 参照）を踏まえ、本魅力発信検討委員会において、魅力発信にかかる仕組みや手法、具体的な取組について検討を進めていただき、本市の行動指針として取りまとめを行いたいと考えています。

行動指針に記載する主な内容（現時点では）

- ・魅力発信の背景目的
- ・魅力発信に対する課題
- ・魅力発信の手法・具体的取組
- ・魅力発信の仕組み（市民等との協働による）

委員会において、
この 2 点を議論していただく

4 . スケジュール

日程	内容
平成 26 年 7 月 7 日	第 1 回宇治市魅力発信検討委員会 ・平成 25 年度調査研究内容の確認 ・スケジュールの確認
7 月から 9 月	行動指針（初案）の作成 事務局において作成
10 月	第 2 回宇治市魅力発信検討委員会 ・行動指針（初案）をベースに協議
11 月から 12 月	行動指針（最終案）の作成 事務局において作成
平成 27 年 1 月	第 3 回宇治市魅力発信検討委員会 ・行動指針（最終案）の協議・確認 行動指針策定